

農業の用排水路及びため池への転落事故防止のための啓発ツール

■ ため池に入るのは危険です (BUZZ MAFF)

【農業用ため池における転落事故防止PR動画】



■ 【農業用ため池における転落事故防止PR動画URL】

■ <https://www.youtube.com/watch?v=-4bXpH3Qfek>

【BUZZ MAFF (ばずまふ) とは】

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力等を発信するプロジェクトです。

■ 転落事故防止の啓発ポスター

(全国土地改良事業団体連合会 作成)



■ 【農業用水利施設の安全対策啓発ポスターURL】

■ <https://www.inakajin.or.jp/works/support/land/poster>

全国水土里ネット (全国土地改良事業団体連合会) では農業用の用排水路やため池への転落事故防止を呼びかけるポスターを作成し、無償でデータ提供しています。

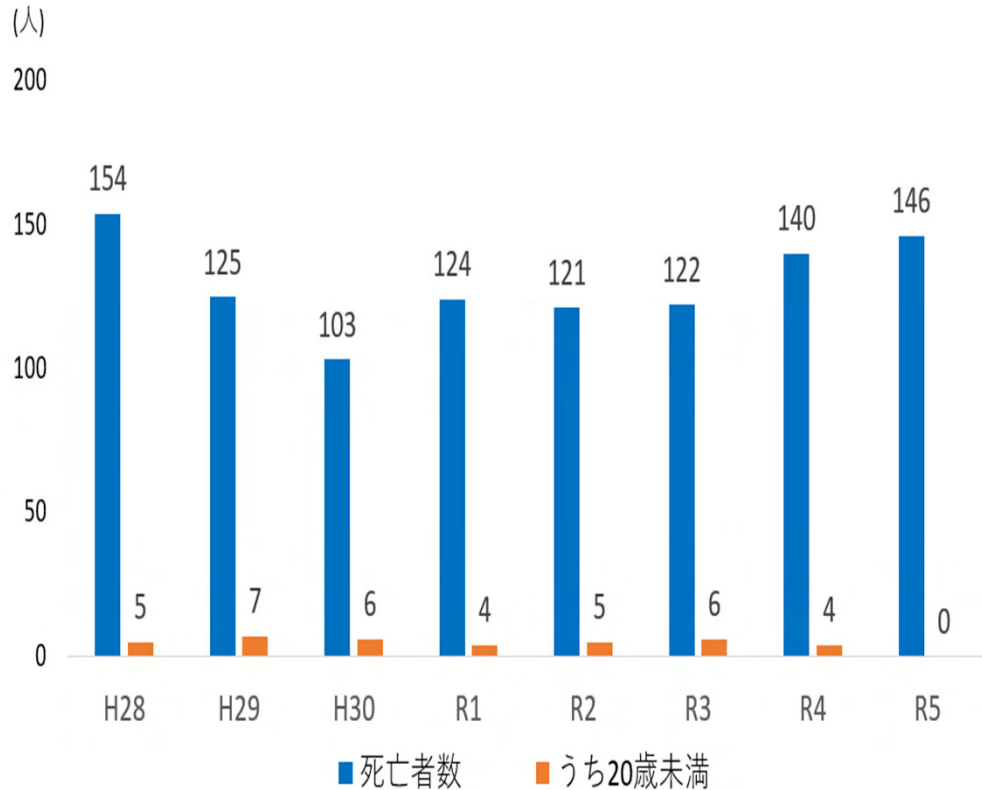
農業用の用排水路、ため池等への 転落事故における死亡者数

農業用の用排水路、ため池等への転落事故における死亡者数は、毎年**100人以上**となっています。

このうち子供の死亡者数は、毎年5人程度となっています。

(年度別の転落事故における死亡者数)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
死亡者数	154	125	103	124	121	122	140	146
うち10歳未満	3	3	3	2	2	3	1	0
うち10歳以上20歳未満	2	4	3	2	3	3	3	0



農業用の用排水路及びため池の危険性

ゲリラ豪雨などが発生すると、一気に水路の水位が高くなるなど、大変危険なので、農業用の用排水路などへ近づいたり、遊ばないように注意して下さい。

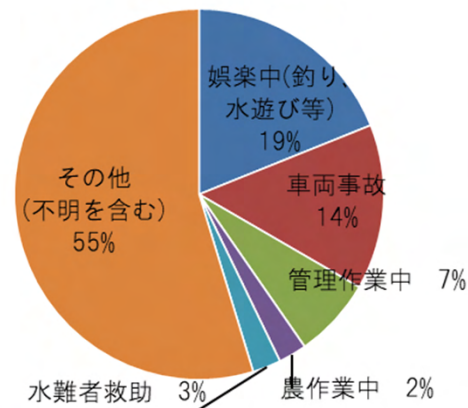


農業用の用排水路の増水状況

ため池の転落死亡事故は、釣り、水遊び等を行っているときに発生することが多くなっています。

ため池へ近づいたり、遊ばないように注意して下さい。

(死亡事故の原因別割合)

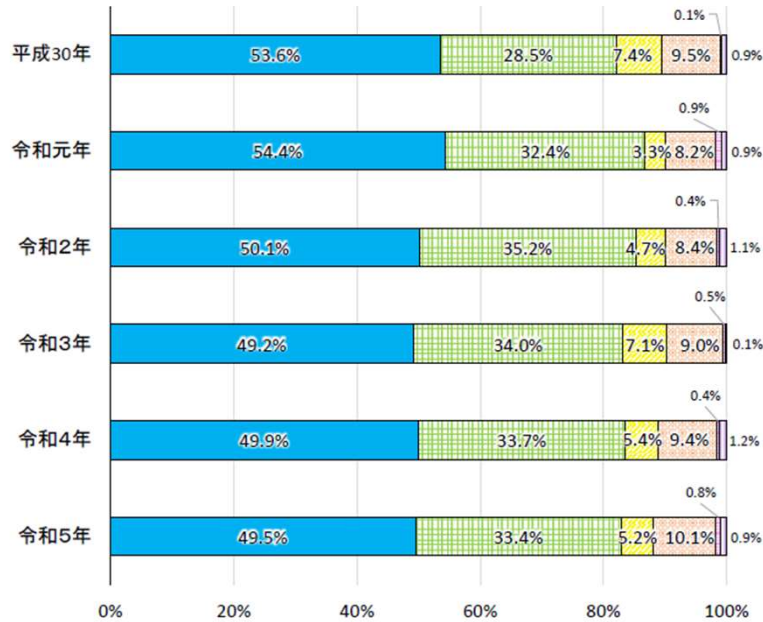


※都道府県から農水省への報告(H26年度～R5年度)による。

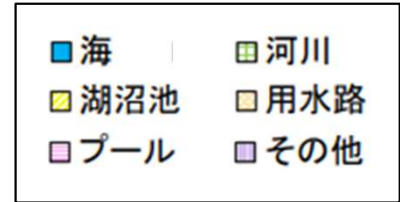
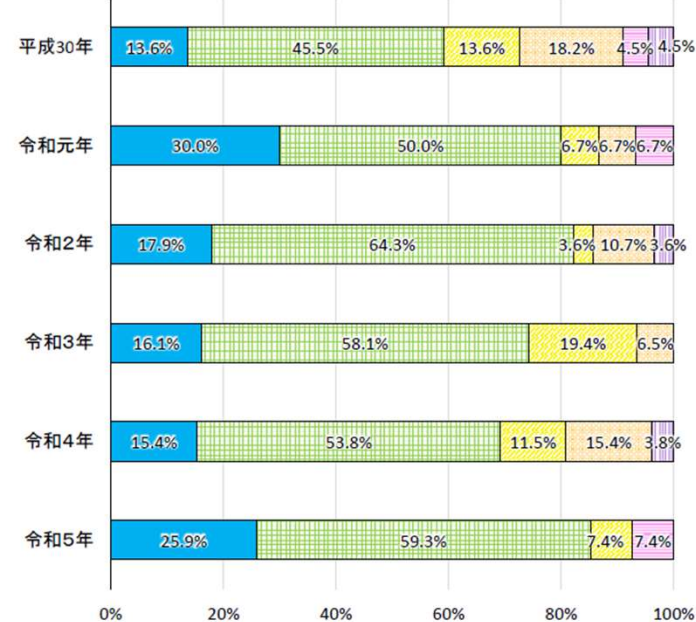


水難者（死者・行方不明者）の場所別構成比

(全年齢)



(中学生以下)

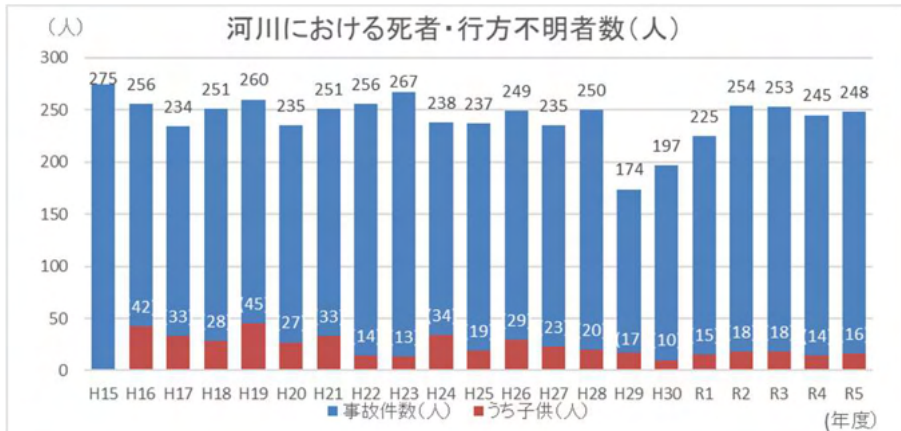


出典：警察庁生活安全局生活安全企画課「令和5年における水難の概況」

“河川”は“海”について2番目に高い

子どもでは“河川”での発生が最も多い

河川水難事故は毎年多発



○平成20年7月の都賀川水難事故では、児童3人を含む5人が死亡





■ RIVER SCHOOL 川を教室にして伸ばす生きるちから 【教員向けパンフレット】

(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課作成)



<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/riverschool.pdf>

■ リバーアドベンチャー ～川に魅せられし者たち～ 【子ども向けRPG風水難事故防止動画】

(国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課作成)



<https://www.youtube.com/watch?v=IrIkZCm1l0&feature=youtu.be>

■ 水辺の安全ハンドブック

【水辺で活動する保護者・団体・学校関係者等向けハンドブック】

(公営財団法人 河川財団作成)



<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid129.html>

■ うんこドリル 川の安全【子ども向け学習用冊子・アプリ】

(国土交通省、河川財団 監修、文響社発行)



(WEBアプリ)

(冊子) <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/unnkodoriru.pdf>

(WEBアプリ) <https://play.unkogakuen.com/manabi/game/river/?rf=drill>

ウォーターセーフティガイドとは



<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

以下の8つのマリレジャーについて事故防止のための情報を取りまとめた総合安全情報Webサイトです。

- モーターボート
- カヌー
- 水上オートバイ
- スタンドアップパドルボード
- 遊泳
- ミニボート
- スノーケリング
- 釣り

16歳未満の事故者が多い「遊泳」について掲載内容の一部を紹介します。

詳しくは右の二次元コードからウォーターセーフティガイドをご覧ください。



【二次元コード】

海で遊ぶときの注意

海はプールと違って、泳ぎが得意な方でも波や潮の流れにより溺れてしまうことがあります。海水浴は、遊泳区域が旗やロープで示されており、ライフセーバーや監視員が居る開設された海水浴場で泳ぎましょう。

天気予報や自身の体調を確認するとともに、ライフジャケットや防水パック入り携帯電話などを持っていきましょう。



離岸流について

沖に向かって発生する強い流れに注意しましょう。離岸流はとても強い流れのため、一旦この流れに巻き込まれてしまうと、気がつかないうちに沖まで流されてしまい大変危険です。

沖に流された場合は、落ち着いて海岸と平行に泳いで離岸流から脱出しましょう。



子どもから離れない

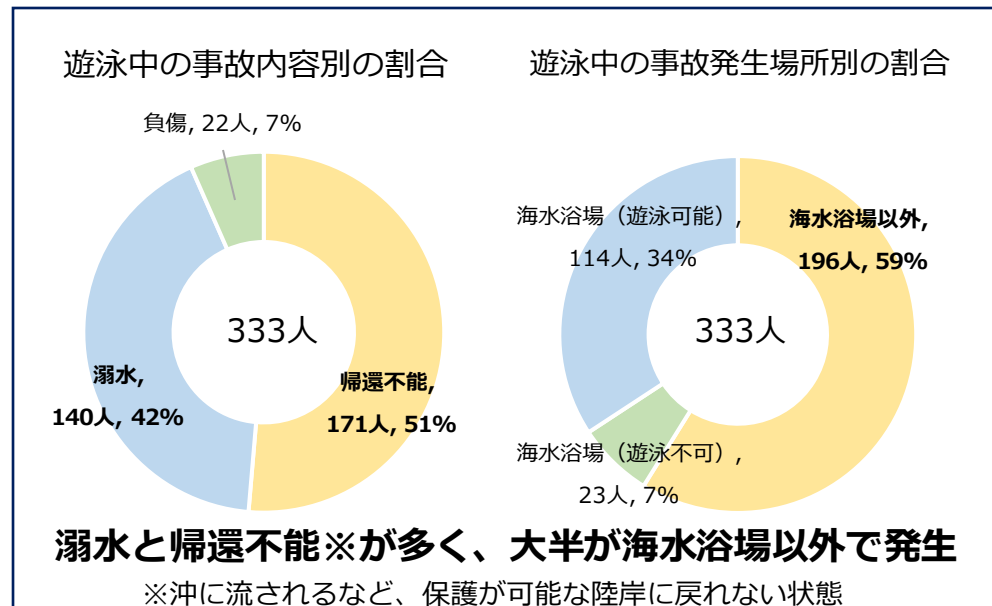
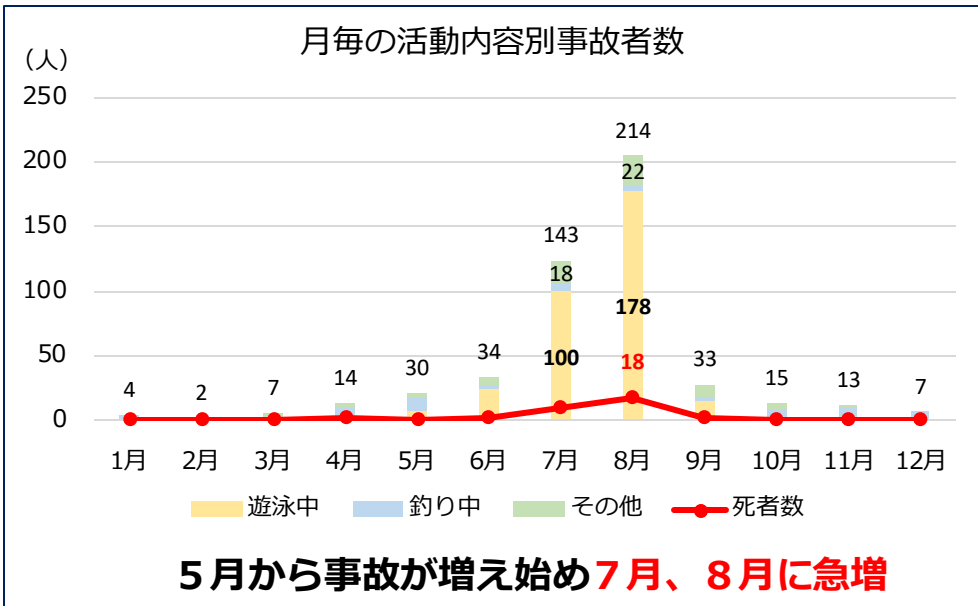
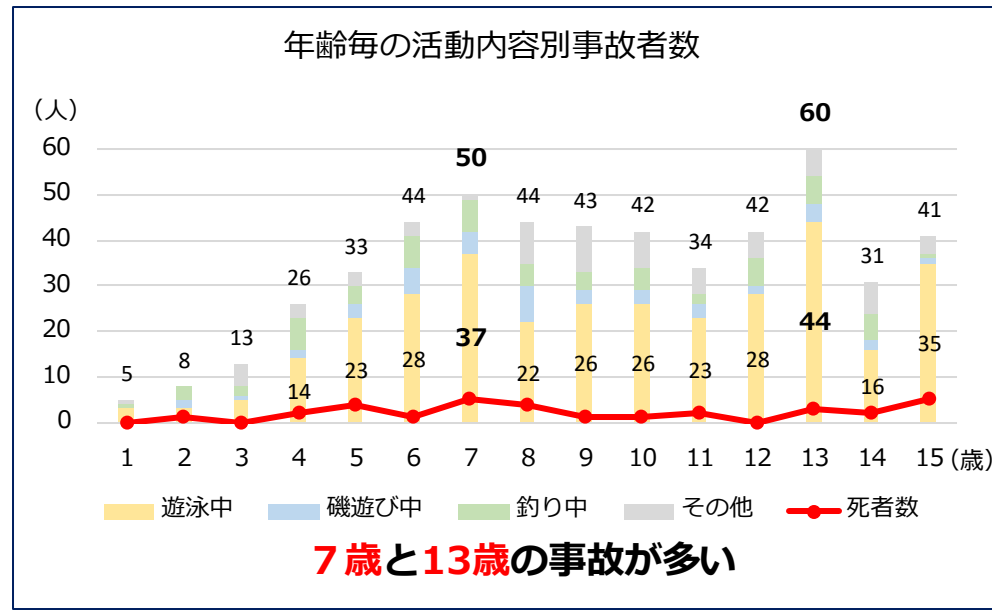
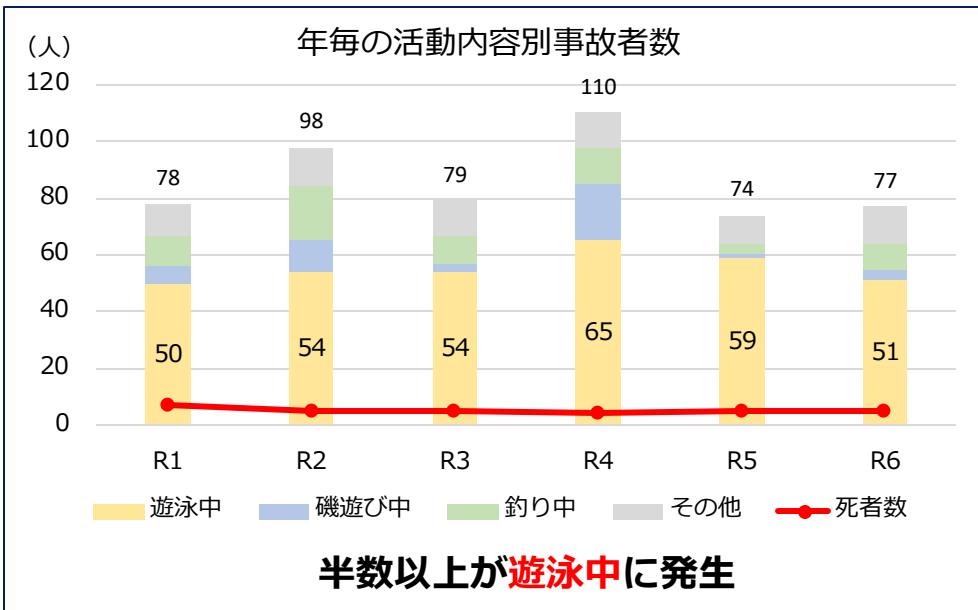
子どもは大人に比べ危険に対する判断ができません。思いがけず小さな波でも足をすくわれ、溺れることがありますので、保護者の方は、常に子どもから離れないようにしましょう。また、万が一に備えライフジャケットを着用させましょう。

水辺に子どものみでいるのを見かけたら、大人が注意するようにしましょう。

波打ち際でも、子どもが波にさらわれ沖に流される事故が発生しています。海に入っていないなくても油断は禁物です。



16歳未満の事故者状況 (R1-R6)



海上保安庁の取組について



遊泳者への安全啓発活動



安全教室におけるライフジャケットの着用体験

事件事例の紹介

遊泳中に沖に流された事故

中学生が沖に向け遊泳していたところ、潮に流され戻れなくなりましたが、運よく付近の岩場に漂着し、通りかかったゴムボートに救助されました。



浮き具で遊んでいたら

沖に流された事故

小学生の姉弟が波打ち際で大型浮き具に乗っていたところ、風の影響で沖に流されました。

父親が助けようとするも追いつかず、その後、ボートにより救助されました。



保護者が目を離したときに

溺れた事故

家族でスノーケリングをしていたところ、親が目を離した際に、小学生の子どもが海面を叩きながら溺れていました。

父の救助が間に合い、病院に搬送されましたが、1週間の療養となりました。

